

2015～16年ロータリー財団地区補助金申請状況

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 福井 隆一郎

ロータリー財団委員長 中野 均

申請限度額 : 78402ドル

申請額 : 20685ドル

残額は、2016～17年地区DDFに繰り越されます。累計：約45万ドル。

申請クラブ数 : 8クラブ

活動内容

・NPO法人への遊具寄贈と児童とのふれあい事業

不足している絵本や三輪車等を寄贈し、それらを使い子供たちの学びや遊びへの心の扉を開くための活動。

・日本文化空手道を通じての国際親善支援プロジェクト

空手を通じて国際親善に大きく貢献している団体に対して、団体が世界27か国で行っている普及活動に支援する。

・防犯カメラ設置プロジェクト

安心・安全に暮らせる町づくりのため、役所を通し、通学路・駅周辺・公園等に防犯カメラを設置する。

・職業訓練用機器の援助

外国の友好クラブと連携して、機器を供給し、現地住民に安定収入を得るため職業訓練を実地して、自立できるようにするための援助。

・ロータリークラブふれあいウォーク

市民対象にウォーキングし、イベントを開催。独居老人の参加も多数あり好評である。地域社会において、健康意識の向上、地域の緑化に貢献できている。

・地域内施設支援プロジェクト

施設に物品を贈り、それを使い入所者とふれあい成長の助けとする。

・フィリピンにおける大学スカラシッププロジェクト

現地の友好クラブと連携して、貧困家庭出身の優秀子女2名を選抜し学費等を支援する。

卒業後、地域社会から「ロータリークラブから人道的な教育活動」として、市長、市議会等から高く評価されている。

・電鉄会社のインフラ整備

経営が厳しい電鉄会社のインフラ整備の一つとして、駅ベンチの修理や設置することで、地域住民の利用、外国からの来訪者の利用増加に期待する。